



医学・看護学教育通信

第9号
発行 2007.9.6

佐賀大学医学部 教育広報部会

はじめに

まだまだ猛暑日が続いていますが、カリキュラム上、学生の夏休みは終了し、教育行事が始まりました。また10月には学園祭が控えており、各委員はもちろん、部活動単位での催し物等、準備に向けて多忙な日々であると思います。いかに多忙でも、本来の業務(学生であれば学習)を破綻させないこと、自己管理ができ、体調を崩さないことは、医療人として必須のスキルです。失敗もあるでしょうが、がんばって取り組んでください。

医学部同窓会による学生教育の支援

医学部同窓会をご存知でしょうか?昭和59年佐賀医科大学1期生の卒業時に発足しました。今春、医学科24期、看護科11期卒業生が加入し、現在会員は3033名となりました。大学の組織改変に伴い名称を佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会(会長:江村正)としています。

同窓会でも学生に対しての教育支援を行っています。国家試験合格率がやや低迷していた時期に何か協力できることはないかということで、平成17年より医学科6年生、看護学科4年生に対して学術振興という名目で40万円ほど寄付を始めました。これは、国試対策のビデオ講座購入、参考書購入、模擬試験等に使用されています。その効果の表れか、今年は医学科、看護学科とも良い成績だったようです。

また、今年から海外研修奨学金を新設しました。以前より、ハワイ大学での学生研修が行われていますし、昨年の国際医療研究会主催のシンポジウムで幾人もの学生が海外に研修に行っていることを知りました。これらはほとんどが自費であり大学からの援助も期待できないようです。同窓会として何か援助はできないかと考え、今年、奨学金を新設しました。高学年を中心に募集したところ13件の申請があり、わずかではありますが援助することができました。行き先は、ハワイ大学以外に、フランス(パリ)、カナダ(カルガリー)、アメリカ(クリーブランド、ニューヨーク)等世界各地に渡ります。今後、看護学科学生の海外研修にも広がればと考えています。

このほか、大学祭、オープンキャンパスにも毎年資金援助を行っており、学生生活に貢献できればと考えて

います。(市場正良,前同窓会長)

省エネへの取り組み

佐賀大学では地球環境問題に積極的に取り組む姿勢として、平成19年度にエコアクション21(EA21)の認証取得を目指しています。EA21とは、環境負荷の少ない経営システムです。国際規格ISO14001の国内簡易版といわれるものです。また、経済産業省により第1種エネルギー管理指定工場に指定され、毎年1%のエネルギー削減に取り組まなければなりません。

鍋島地区では、医学部、附属病院、総合分析実験センターでEA21委員会を立ち上げ、3年間で3%のCO2排出量削減、1%の廃棄物削減(コピー紙使用量を含む)、1%の水使用量削減を目標とし、そのための活動計画を策定しました。環境負荷を減らすことは、経費の削減にもつながります。19年度は今のところ、電力及びコピー紙の削減が不十分です。

教職員・学生の皆さんには、講義室やPBL室での過剰な冷房に注意してください。不在時には電源をオフにしてください。印刷は両面にするようにしましょう。(市場正良)

PBL時の飲食物の持ち込みについて

本年度7月に実施した3年次対象のPBLオリエンテーションでは、PBLのより効果的な実施のために多くの意見を交換しました。5年生、6年生の先輩からの貴重なアドバイスもありました。

その中で学生から強い要望があった、「PBL中の飲食物の持込許可」について、Phase検討部会で検討したところ、「飲み物のみ持ち込み可」となりました。ただし、片付けなどが徹底されていない場合、見直しを行いますので、注意してください。

(Phase チェアマン 小田康友)

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、
江村正、藤田君支、田崎法人

ご意見をお待ちしています(oday@cc.saga-u.ac.jp)。